

議会だより

2010年11月 北海道中川郡豊頃町議会発行



第3回定例会は、9月10日に招集され、補正予算のほか平成21年度各会計歳入歳出決算などいずれも原案どおり可決・認定し、16日に一般質問等を行なって閉会しました。



一般会計

8千329万円の追加補正予算を可決

平成22年度一般会計ほか4特別会計が下表のとおり補正されました。
 おもな補正の内容は、商工会法施行50周年を記念して実施するプレミア付特別商品券発行事業などへの補助金のほか、(仮称)はるにれ多目的活動センター整備工事、確定申告受付システム改修、町立豊頃医院オストメイトトイレ設置工事、家畜自衛防疫組合補助金、農道・明渠維持補修、基幹作業道安骨線調査設計委託業務、道路橋梁維持補修等に要する経費の追加を行ったものである。

平成22年度各会計補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	8,329万3千円	39億2,442万9千円
国民健康保険特別会計	1,088万6千円	6億1,232万5千円
介護保険特別会計	250万0千円	3億1,190万9千円
老人保健特別会計	16万7千円	33万0千円
公共下水道特別会計	72万0千円	2億1,574万5千円

補正された主な内容

(一般会計)	
(仮称)はるにれ多目的活動センター整備工事	985万0千円
確定申告受付システム改修	122万9千円
豊頃医院オストメイトトイレ設置工事	75万6千円
中山間地域等直接支払事業交付金	610万0千円
基幹作業道安骨線調査設計委託業務	310万0千円
商工会法施行50周年記念事業補助金	516万9千円
物産販売所下屋設置工事	189万0千円

平成21年度 各会計の歳入歳出決算を認定

各会計の歳入歳出決算額

【単位：円】

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	繰越明許費 繰越額	実質収支額
一般会計	4,736,030,750	4,672,509,857	63,520,893	5,537,000	57,983,893
国民健康保険特別会計	665,970,818	652,943,939	13,026,879		13,026,879
介護保険特別会計	318,481,547	309,049,837	9,431,710		9,431,710
老人保健特別会計	9,442,911	9,273,006	169,905		169,905
後期高齢者医療特別会計	42,113,111	42,087,738	25,373		25,373
医療施設特別会計	152,503,521	152,384,585	118,936		118,936
簡易水道特別会計	207,355,791	205,414,412	1,941,379		1,941,379
公共下水道特別会計	274,266,658	272,174,269	2,092,389		2,092,389

平成21年度の一般会計ほか7特別会計の歳入歳出決算は、町監査委員の決算審査意見書とともに提出され、本会議において審議を行った結果、各会計とも認定すべきものと決定しました。各会計の決算額については、上記のとおりとなっております。

Q メタボ検診の受診状況と対策は。

A 平成20年度から3年間無料で実施しており、昨年の受診率は20パーセントを超えているが目標の60パーセントには達しない状況である。ガイドブックを作成し全戸に配布しており、また、検診時期が近くなれば広報等でも周知し受診を喚起していきたい。

Q 豊頃町森林組合への出資金を合併後の十勝広域森林組合へそのまま出資しているが、どのように議論されているか。

A 広域化前から一部取り崩す旨を申し入れしていたが、財政的に困難な状況にあるということである。他町と比較すると本町の出資金額が少なくない額であり、いずれはある程度町村規模で均衡のとれる額で調整を考えている旨申し入れしている。

Q 町民税の不能欠損処分があるがいかなる理由か。税の公平性の観点から、問題があるかと思うが。

A 徴収については、毎年計画をたて納付督促をおこなっている。しかし、滞納される納税者の中には生活がかなり厳しい方もおり、現年度分を優先し納付していただき、余裕ができれば過年度分も納付してもらう考え方で徴収しており、時効により消滅するものが出てくる。可能なものについては給与、預貯金、不動産等の差し押さえもしている。



一般質問

交流、滞在人口の増加を 宿泊施設の見直しを進める

大谷友則議員 人口3千人を目標にまちづくりが進められているが、これまで減少に歯止めがかからなく、このまま高齢化が進むと町内各地区で限界集落化（65歳以上の高齢者が50パーセント超え）に陥る状況になる。

移住推進を図ることは勿論であるが交流人口や滞在人口を増やし、町の活性化を図ってはと考えるが。

宮口町長 今は人口増を望む状況は極めて現実的ではないと考えており、子育ての支援・定住・移住対策及び産業振興などで減少の鈍化を図ることにより目標を3千人としている。高齢化による限界集落化の恐れに対しては、専門的なポジ

子宮頸ガン予防ワクチン接種 全額助成に向けて検討する

シヨンなどを考え積極的に対応していく。市街地内の空店舗を購入して開店するという動きもあり、今後も定住に向け支援していく。また、観光資源の活用による滞在人口や宿泊滞在に対応する核となる宿泊施設も現在では老朽化し厳しい状況であるため、本格的に施設の見直しを進めてまいりたい。

菅谷 誠議員 子宮頸ガンは国内で年間約1万5千人が発症し約23パーセント以上の方が死亡されている。特に20代から30代での増加が問題となっており昨年12月に予防ワクチンが認可されている。子宮頸がんの現状と今後の対応は。

宮口町長 本町における子宮頸ガンの検診は平成16年から21年までに58人が受診し、経過観察者はいるが発症者はいない。中学生を対象にすると3回の接種を必要として5万円程度の費用となる。

厚生労働省の平成23年度の概算要求では子宮頸ガン予防対策として接種費用の3分の1相当額が国から助成

ヒブ・7価ワクチン接種 積極的に支援したい

されるとの情報であり、対象の中学生は約50人前後であるため実施できるよう内部で検討している。

菅谷 誠議員 予防ワクチンの接種には保険が適用されず5万円程度の費用が全額自己負担である。ガンの中で唯一予防可能とされているが接種費用の全額助成の考えは。

宮口町長 新年度からワクチン接種費用の全額助成に向けて取組みたい。

菅谷 誠議員 この予防ワクチンの接種は3回とされているが、本町の対象者の範囲は。

宮口町長 中学1年生から3年生までの間で検討する。

積極的に支援したい

菅谷 誠議員 少子化対策の一環としてワクチン接種による感染防止と重症感染症から幼児を守る事が重要である。5歳未満児の肺炎、肺血症などヒブ髄膜炎はワクチン接種ではほぼ防ぐことができるかとされているが今後の対応について伺う。

宮口町長 B型のインフルエンザ菌による重症感染症には3歳未満の子供に多く発症する髄膜炎があり、初期は風

邪と見分けがつかず、急激に悪化し死亡率も約5パーセントで、20パーセントから30パーセントは発育障害等の重い後遺症が残る。この予防のためにヒブワクチン接種費用については、豊頃医院で4回3万円程度かかる。

菅谷 誠議員 ヒブワクチンは、予防接種法では任意接種とされ国の公費負担の対象外である。細菌性髄膜炎予防ワクチン、小児用肺炎球菌7価ワクチンは1回1万5千円程度、ヒブワクチンは8千6百円程度と高額である。経済負担の解消と子供を守ることからもワクチン接種の全額助成に対する町の考えは。

宮口町長 ヒブワクチン・7価肺炎球菌ワクチンなどは積極的に指導していきたい。ワクチン接種費用について今の段階では全額助成とは言えないが、保護者に一部負担を求める場合もあるかと思うが財政の許す限り積極的に支援をしたい。

菅谷 誠議員 今年3月の時点でワクチンの国内供給不足と言われたが現状は。

宮口町長 現在国内でワクチンが不足しているようである。しかし本年10月から11月頃までにはこの不足が解消されるという情報がある。



特養施設の整備計画内容は

愛生協会と十分に協議する

菅谷 誠議員 高齢化が急速に進み介護施設の充実が急務である。3月の行政報告では地域密着型小規模特養施設28床を新築するとし、概算事業費2億7,8千万円とされ、国の補助制度を活用し、財政の許す範囲内で支援すると報告された。今定例会の行政報告では、平成23年度建設予定とされているが、総事業費の内容及び町の支援金額の概要にも触れられていないので詳しい内容について伺う。

宮口町長 社会福祉法人愛生協会が現在計画している地域密着型小規模特養の新築は29床で予算規模が相当膨れ、要請書では5億円を超える内容である。問題は町が財政支援をどこまでできるかである。現在内部で十分精査検討をしている。

菅谷 誠議員 地域密着型の施設であり特に特養の待機者等一般市民の関心も高く早期に完成し期待に応えるよう努力をすべしと思うが。

宮口町長 愛生協会と十分に協議をしながら積極的に取り組みたいと考えている。



特別養護老人とよころ荘

防災訓練を実施して

地域の共助を望む

長谷川議員 地震による道路被害は人的な被害を生むが、その対応は。

宮口町長 大きな地震では通行止めなどの対応をしている。

長谷川議員 大津地域への津波到来には時間がかかるため、住民の心に油断がある。これの対策は。宮口町長 地元の自主防災組織を支援しながら、安全な体制を作りたい。

長谷川議員 ひとり暮らしの方や高齢者世帯等の安否確認の対応は。

宮口町長 高齢者世帯等を明示したマップなどを利用し、日頃から訪問することが大切である。今後とも高

行政改革大綱の目標は

職員の意識改革が第一

長谷川議員 災害発生時には漁業者の協力が重要である。漁協との連携をはかり、また、建設中の避難場所についても住民周知が必要と思うが。宮口町長 漁協とは十分連携を図っており、地域としても自助・共助により対応してもらいたい。避難場所については整備が進んだ段階で周知したい。

長谷川議員 災害時の高齢者に対する心のケアの対応は。

宮口町長 専門職である保健師を現地向かわせるなど積極的に対応したい。

大崎英樹議員 平成22年から5力年の行政改革大綱の意義と目標は。

宮口町長 自治体の経営自主自立、住民主体の視点に立ち、時代のニーズに即した財政運営及び行政サービスの実現に向け策定した。

大崎英樹議員 行政、自治体が自主、自立をするという視点から今までになかった経営という文言は何を意味するのか。

宮口町長 従来は町の役

割は住民サービスが第一の業務であったが民間対応の考え方で経済効果を図り財政を維持し、収支のバランスの他に民間の発想をもって運営、経営すべきという考えで取り組む。

大崎英樹議員 自主財源は約2割であるが、今後の財政状況をどのように考えているか。

宮口町長 財政運営の約8割は依存財源。その大半は交付税に依存しており財政的逼迫を受ける場合もある。自主財源の確保に努力して公平な支出を考え町の経営を進めたい。

大崎英樹議員 行政改革の中で協働のまちづくり、財源確保、人材育成、職員の意識改革、資質の向上とあるがどのように考えているか。

宮口町長 行政改革の最重要として住民サービスを考えるとき職員の意識改革が第一である。町民と同じ目線で対応しあいさつ運動を実施し、職員研修を計画し、職員自ら研鑽させる考えである。

大崎英樹議員 正職員81名、準職員20名合計101名中他町からの通勤者は何人か。

宮口町長 現在9名である。町のため住民の側から見て人口減傾向の面では本町に居住することを願っている。



★ 行政報告 ★

第3回定例会において町長から行政報告がありました

◆秋サケ漁の状況について

8月25日に水揚げが開始された秋サケ定置網漁業については、9月10日現在、大津漁港での水揚げ量は218トンで、前年同期と比較して385トン、64パーセントの大幅な減となっている。

一方魚価は1キログラム当たり360円で昨年並みとなっている。

漁期前のサケマスセンターの発表による来遊予測では、前年比20パーセント減と予想されているが、盛漁期を迎える今後に期待をるところである。

また、このような状況の中、本年春先及び8月の十勝川上流地域の降雨により十勝川が増水し、本町及び浦幌沿岸に大量の流木が漂着したことから、河川管理者及び海岸管理者により一次集積を行い、サケ定置網漁業期を迎える時期には作業が完了している。

今後解禁となるシシャモ、ツブ、カニ漁についても豊漁を期待したい。

◆特別養護老人ホームの整備について

昭和58年から社会福祉法人豊頃愛生協会が開設している特別養護老人ホーム（50床）のスプリングクーラー整備及び待機者対策について昨年からは十勝総合振興局等と協議を進め、介護基盤の緊急整備特別対策事業による小規模特別養護老人ホームの整備計画を提出したところである。

事業実施については、当初、平成24年度を予定していたが、十勝総合振興局から平成23年度での実施が可能である旨の打診があり、併せて豊頃愛生協会からも早期の事業実施に向けて強い要請を受けたことから、平成23年度に事業実施を計画したところである。

今後、施設規模、建築場所等を事業実施主体である豊頃愛生協会と十分協議をしながら、施設整備を進めたい。

◆本町における宿泊施設の将来について

昭和50年に開業した「十勝ロイヤルホテル」は、平成12年12月に町が現状の土地建物を一括取得、平成13年4月以降は賃貸契約により本町唯一の宿泊施設として運営されている。

時の経過とともに、対症療法的な整備を行うも老朽化の歯止めには至らず、今後長期的な施設運営を望むことに限界を感じている。

賃貸契約は平成23年3月31日を以って満了となることから、これを契機として本町の新たな宿泊施設確保についての検討に取り組んでいる。

このため、国土交通省の助成を受け豊頃町及び浦幌町の2町を事業区域に地域観光資源のネットワーク化を目指し、平成21年及び22年の2年間を事業期間とし、事業管理者を豊頃町商工会長として取り組まれている「東十勝ロングトレイルを活用した地域活性化に関する事業」の事業メニュー『地域観光資源の発掘、観光ルートの検討、宿泊施設の検討、サポートシステムの検討等』のひとつである宿泊施設の検討において、東十勝における現十勝ロイヤルホテルの今後のあり方とその方向性についての検討内容が、本町の現在おかれている状況と一致したもので、本事業における検討内容を活用し、今後の宿泊施設の必要性及びあり方等の初期段階での判断材料とするものである。

去る8月31日に、3社によるプレゼンテーションを実施し、副町長を長とした審査委員会により1社を選考し、今後は「規模・設備、地域との連携、森林公園との調和」等と併せて経営内容の検討を予定している。

◆農作物の作況について

「農作物の作況について」の報告もありましたが、委員会レポートで掲載しますので、ここでは省略いたします。

【条例改正等】

▼人権擁護委員候補者推薦の諮問

河原葉子氏を「適任」と答申

人権擁護委員の任期満了に伴い新たに河原葉子氏（茂岩栄町）を推薦したいとの諮問があり、「適任」と答申した。

なお、平成23年1月1日から就任となり、任期は平成25年12月31日まで。



河原 葉子 氏

▼過疎地域自立促進市町村計画の策定

過疎地域自立促進特別措置法の規定に基づき、本町の過疎地域自立促進市町村計画（平成22年度～平成27年度）を策定したものである。

意見書

- ▷道路の整備に関する意見書
- ▷森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書

いずれも原案可決され、関係省庁に提出されました。

第4回臨時会（8月24日）

▼物品の取得

物品を取得するにあたり、取得価格が700万円以上の契約であることから議会の議決を求められた。取得する物品は豊頃茂岩デジタルテレビ中継放送所送受信設備一式であり、日本放送協会との随意契約で、契約金額は1千226万円である。

定例会・臨時会の審議結果

▼平成22年第4回臨時会（会期8月24日）

▼平成22年第3回定例会（会期9月10日から16日）

- ・物品の取得について
- ・議会運営委員会所掌事務調査結果報告
- ・産業厚生常任委員会所掌事務調査結果報告
- ・平成22年度一般会計補正予算（第3号）
- ・平成22年度国民健康保険ほか4特別会計補正予算
- ・豊頃町過疎地域自立促進市町村計画の策定
- ・人権擁護委員候補者の推薦（河原葉子氏）
- ・森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書の採択について
- ・平成21年度一般会計歳入歳出決算認定について
- ・平成21年度国民健康保険ほか7特別会計歳入歳出決算認定について
- ・森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書の採択
- ・議員の派遣
- ・委員会の閉会中の所掌・所掌事務調査の申し出の件（議会運営委員会・総務文教常任委員会）

会議の詳細は
会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。
ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。
また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)

決	決	原案可決	認	認	も採択	産業厚生常任委員会に付議	適	原案可決	原案可決	原案可決	報告済み	報告済み	原案可決
定	定	決	定	定	採	員	任	決	決	決	み	み	決

広報とよこる

議会だより

▽条例改正等 高書第4回臨時会 ほか

役場だより

委員会レポート

産業厚生常任委員会で8月30日に、「農作物の作況について」所管事務調査を行いました。

農作物の作況について、町農業改良推進協議会が主催する作況調査に同行して調査した。

本年は、4月下旬の多雨・低温により甜菜の移植作業や馬鈴薯の植付作業が遅れ、豆類についても5月下旬の多雨・低温によりは種作業が遅れたことから、作物全般に生育が遅延傾向にあり心配されていたが、6月中旬以降から高い気温が続き生育が回復傾向にある。この時点での作物ごとの生育状況は、豆類については回復しており概ね平年並みが期待できる状況である。甜菜は根部の肥大が遅れが見られ、馬鈴薯も玉数が少なく、いずれも平年並みの確保は厳しい状況である。牧草については、1番草、2番草ともに平年よりやや劣っている。デントコーンは初期の生育が遅れたがその後回復し草丈が平年より高く、軟弱徒長の傾向がある。大根等野菜については高温の影響を受け、減収となっている。

すでに収穫作業の収量した小麦については、収量は昨年よりさらに減少している。今後病虫害による被害、霜の降りる時期によつては豆類の収穫に悪影響を及ぼすこ

とも考えられる。

一部の排水不良圃場においては生育不良がみられることから、全的に明・暗渠排水等の農地基盤整備対策や、平成20年度から行われている土層改良を目的とした排水不良圃場への泥炭客土の継続と効果のある活用方法の検討など、安定的な収量確保に向けた対策を講じること。さらに、本格的な収穫期を迎えるにあたり、農作業事故の注意を喚起するよう指導を徹底されたいなどの意見が出された。



農作物の作況調査

議会日誌

〔8月〕

- 11日 例月現金出納検査
報告書受理
- 19～20日 町村議会広報
研修会
～札幌市
- 24日 第4回臨時会
議員全員協議会
- 26日 十勝町村議会議長会
研修会
～本別町
- 30日 産業厚生常任委員会
所管事務調査

〔10月〕

- 6日 総務文教常任委員会
所管事務調査
- 12日 十勝町村議会議員研修
会
～池田町
- 13日 議会広報特別委員会
- 18日 例月現金出納検査
報告書受理
- 19日 議会広報特別委員会
- 22日 札幌豊頃会
～札幌市

◎今後の予定

〔9月〕

- 6日 議会運営委員会
- 10日 第3回定例会(1日目)
(補正予算、その他)
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
- 13日 第3回定例会(2日目)
(決算認定)
- 16日 第3回定例会(3日目)
(一般質問、その他)
議会広報特別委員会
- 17日 例月現金出納検査
報告書受理

〔11月〕

- 6日 東京豊頃会
～東京都
- 17日 全国議長大会
～東京都
- 19日 議員全員協議会
- 26日 十勝圏複合事務組合
会定例会
～帯広市
- 十勝環境複合事務組合
議会定例会
～帯広市

〔12月〕

- 中旬 第4回定例会